

川端龍子《臥龍》(部分) 1945年、大田区立龍子記念館蔵
Ryushi Kawabata, *Lying Dragon*, 1945

名作展

大画面の奔流

—川端龍子の「会場芸術」再考

2024年3月20日(水・祝)～6月9日(日)

Ryushi Memorial Museum

Ryushi Kawabata Exhibition March 20 - June 9, 2024

"Trends in his large-screen paintings from pre-war to post-war"

Kawabata Ryushi (1885-1966) is considered one of the great masters of modern Japanese-style painting. The Ryushi Memorial Museum was planned and designed by Ryushi himself and has a collection of more than 140 of his diverse works.

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1

ホローダイヤル 050-5541-8600



- 開館時間 9:00～16:30 (入館は16:00まで)
- 入館料 一般200円、中学生以下100円
※65歳以上(要証明)、未就学児及び障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料
※4月7日(日)「第34回馬込文士村大桜まつり」開催日は、入館料無料
- 休館 月曜日(4月29日(月・祝)、5月6日(月・祝)は開館し、その翌日休館)
- ギャラリートーク開催日
3月31日(日)、4月28日(日)、5月5日(日)、6月2日(日)
各日11:30、13:00から40分程度
ギャラリートークの詳細は、当館ホームページをご覧ください。
事前申込制: 当館へお電話(03-3772-0680)にてお申込みいただけます。



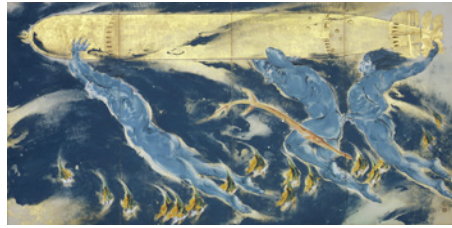
川端龍子《花摘雲》1940年、大田区立龍子記念館蔵
Ryushi Kawabata, Gods of Cloud Picking Flowers, 1940



川端龍子
《海洋を制するもの》
1936年
大田区立龍子記念館蔵
Ryushi Kawabata
Conquerors of the Sea, 1936



川端龍子《小鍛冶》1955年、大田区立龍子記念館蔵
Ryushi Kawabata, Swordsmiths, 1955



川端龍子《水雷神》
1944年
大田区立龍子記念館蔵
Ryushi Kawabata
Gods of Torpedoes, 1944

名作展

大画面の奔流

—川端龍子の「会場芸術」再考—

2024年3月20日(水・祝)～6月9日(日)

Ryushi Memorial Museum March 20 - June 9, 2024
Ryushi Kawabata Exhibition "Trends in his large-screen paintings from pre-war to post-war"

2024年に富山と岩手で開催される「川端龍子展」を皮切りに、生誕140年を迎える来年以降も本州を縦断するように、日本画家・川端龍子(1885-1966)の画業を紹介する展覧会が開催される予定です。今後、龍子の大画面の作品を見たいと望む声は全国でますます高まってくることでしょう。そこで本展では、龍子が追求し続けた芸術理念である「会場芸術」を、戦前から戦後の大画面の作品を通じて紹介します。

大正期に「展覧会場の壁面で見せる以上、それは特定の少数者のためではなく、広く大衆にうったえるべきである」と考えた龍子は、大画面の日本画作品の制作へと突き進んでいきました。そして、1929(昭和4)年に自らの美術団体・青龍社を設立すると、「大衆と芸術の接触」のために「会場芸術」を追求していく必要があると龍子は主張したのでした。時代は1930年代に入り、「非常時」と呼ばれた不穏な情勢の下、時事的な要素を取り入れた大作を龍子は次々と発表し、大衆の絶大な支持を得るところとなりました。

本展では、泥沼化していった日中戦争の時に描かれた《花摘雲》(1940年)、終戦の年に描かれた疲弊した龍の図《臥龍》(1945年)や、さらには戦後、能楽の演目を描いた《小鍛冶》(1955年)、龍子記念館が開館した年に発表された《海鷗》(1963年)等の展示をとおして、空間性と時代性の表現によって、「大衆と芸術の接触」を密にしていこうとした「会場芸術」による大画面の奔流にせまります。

関連イベント

■地域連携企画「風薫る 美術館コンサート」
日時：2024年5月25日(土) 18:30～19:30
定員：50名 参加費：無料 会場：大田区立龍子記念館



お申込み方法 ※メールでのお申込みは右の二次元コードから『往復はがき』または『FAX』でお申込みください。「風薫る美術館コンサート」と明記し、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、希望人数をご記入のうえ、右記へお送りください。(締切：5月10日(金)必着)

※1通につき2名様まで可。参加者氏名に2名分のお名前を明記してください。返信用はがきには代表の方の住所と氏名を、FAXでのご応募は返信用FAX番号をご記入ください。

龍子公園のご案内

隣接する龍子公園では、龍子設計のアトリエと旧宅を開館日に解説とともにご覧いただけます。

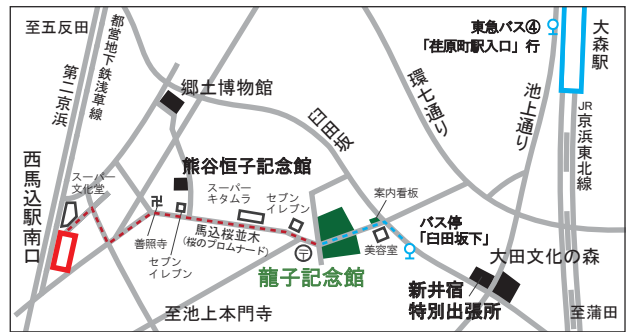


アトリエ

ご案内時刻 (1日3回)

10:00、11:00、14:00に開門します。(30分程度)
Ryushi Garden Guided Tour 10:00, 11:00, 14:00～

■当館へのアクセス



- JR京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車「白田坂下」下車、徒歩2分
- 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から南馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩15分

Access

Ryushi Memorial Museum

4-2-1 Chuo, Ota-ku, Tokyo 143-0024
TEL:050-5541-8600

- From JR Keihin-Tohoku Line Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No. 4 towards Ebaramachi Sta. Entrance, get off at Usuda-Sakashita bus stop and walk 2min.
- 15-min. walk from Toei Asakusa Line Nishi-Magome Sta. South Exit

Information

Opening Hours 9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)
Admission Adults: 200yen, Minors: 100yen
Children under 6 and seniors over 65 are free
Closing Days Mondays (When a national holiday falls on a Monday, the Museum will be open and close on the following day)

次回展の予定

■名作展「いつか夢見た桃源郷

川端龍子の戦後の作品から(仮)

2024年6月22日(土)～8月12日(月・祝)

温泉郷を表した《翡翠》(1951)等、日本画家・川端龍子の描いた桃源郷のような幻想的な作品から、戦後の制作を紹介します。

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央 4-2-1

ハローダイヤル: 050-5541-8600

記念館直通: 03-3772-0680

https://www.ota-bunka.or.jp/facilities/ryushi/



えがくかなでる ひびく

公益財団法人 大田区文化振興協会